

科目名	養 護 内 容	教員名	ありま 有馬 俊二 しゅんじ	開 講	保育科	1年次	後 期
<p>・目的と内容</p> <p>目的 施設養護の概要について理解するとともに、児童養護施設のケアの実態・あり方について学ぶ。            内容 児童福祉法の改正により、児童養護の理念はこれまでにウェルフェア（児童の保護）から、ウェルビーイング（人権の尊重・自己実現）へと流れが変わった。            その新しい流れの中で、児童養護施設におけるケアのあり方、特にインケア、リービングケアの実情と問題点、今後の課題等について学習し、合わせて社会福祉一般についての理解を深める。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：1 単位、授業週数：15 回 ]</p> <p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 児童福祉の理念と概要について</li> <li>2 . 児童養護施設の実情・問題点</li> <li>3 . アドミッションケア</li> <li>4 . インケア ( )</li> <li>5 . インケア ( )</li> <li>6 . インケア ( )</li> <li>7 . リービングケア ( )</li> <li>8 . リービングケア ( )</li> <li>9 . アフタケア ( )</li> <li>10 . アフタケア ( )</li> <li>11 . アフタケア ( )</li> <li>12 . 児童をとり巻く環境 ( )</li> <li>13 . 児童をとり巻く環境 ( )</li> <li>14 . 養護内容のまとめ</li> <li>15 . 講義のまとめ</li> </ol>							
<p>・講義の進め方</p> <p>具体的なケース事例と、テレビ・新聞等での児童に係わる社会問題等を題材にしながらの講義と、可能な限り学生との対話を通して理解を深めていく。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>教科書・資料をもとに答案を作成しテストを実施し、出席日数との総合で評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>現代っ子は幸せなのだろうか？自分たちの幼かった時を思い出し、子どもにとって住みやすい社会とはどんな社会なのか考えてみよう。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書： 新しい養護原理            参考書： 児童施設援助指針、泣くものか</p>							